



地域医療連携室ニュース 第41号 2013年12月



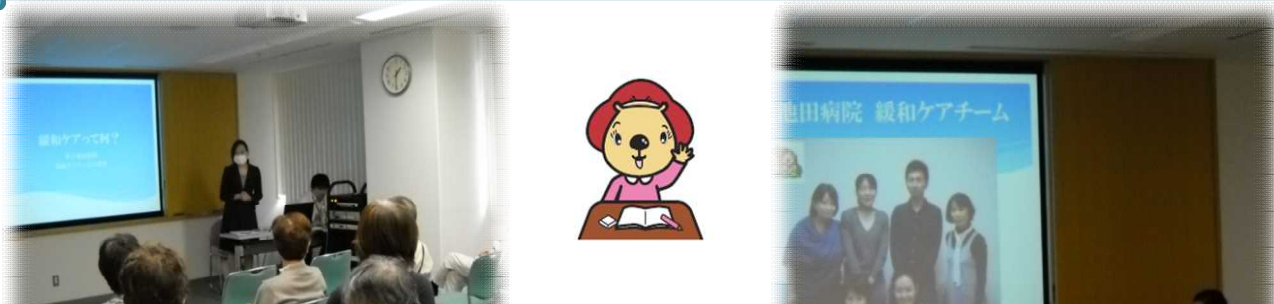
朝晩の冷え込みが身にこたえる時節となりましたが、地域の医療機関のみなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回の地域医療連携室ニュースは「平成25年度市民公開講座」についてお伝えいたします。



☆☆それでは、『これだけは知っておこう 病気・治療の豆知識、平成25年度 市民公開講座』の様をご覧ください☆☆

第6回 緩和ケアって何？ 市立池田病院緩和ケアチームの紹介



10月24日 麻酔科：西島先生より「緩和ケアって何？」というテーマで開催しました。ドキュメント風のビデオ放映もあり、緩和ケアという言葉を知らない方でも、その本質や意義、現状などを知っていただくことができる内容でした。講演後の質疑応答が多く、緩和ケアに興味をお持ちの方がたくさんいらっしゃることが実感できる講演になりました。

第7回 C型肝炎の最新治療について



10月31日 消化器内科：今井病院長より「C型肝炎の最新治療」というテーマで開催し、今回もたいへん多くのみなさまにご来場いただきました。内容についても、最新の治療や技術についてわかりやすい説明があり、みなさまとても熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

平成25年度 市立池田病院 市民公開講座

かぜとインフルエンザは どう違う？

演者：呼吸器内科 橋本医師
日時：12月17日(火) 13:30～
場所：東館2階 講堂

担当：地域医療連携室

次回予定
12/17(火)です。
風邪の季節となりました。通院中の患者様にもご案内下さいませ。



今年も残るところあと1ヵ月を切りました。日々、地域医療連携室にご理解とご協力頂き有難うございます。

今年は年末年始の休みが9連休と長い休みとなります。当院では、地域医療機関の先生方が連休中の医療や介護にご不安がある患者様に対し、レスパイト入院（社会的入院）も検討させて頂きますので一度ご相談下さい。

来年も質の高い医療が提供できるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室
事務局

次号もお楽しみに♪